

活動検討委員会報告

活動検討委員会

当協会では業界の社会的地位向上と対外的アピールを目的に各委員会がワーキング主体となって種々の行事・活動を実施してまいりました。これらの行事・活動はそれぞれ時宜を得たものでいずれも極めて意義深いものである(あった)と思います。ただし、このような成果は十分に認めた上での事ではありますが、一方では激変する受注環境や急ピッチで進められる制度改革の中であって、当初の目的を既に達成した行事や社会情勢の変化に対応していない行事も少なからずあるように思われます。

この様な背景から現行の各活動・行事についてその意義・成果等を総括する事によって今後の協会及び協会活動の在り方を検討すると共に、早急に実施すべき新たな活動を抽出する事を目的に平成12年10月16日に『活動検討委員会』を立ち上げました。

当委員会は出来るだけ広範な意見を集約する為に既設の各委員会からそれぞれ1~2名の委員と若手技術者、女性の混成メンバーで構成致しました。委員会は計7回開催され今後の協会活動においてはこれまで以上に①知識の集積を図り技術の研鑽に努める事

②我々の意見・立場・活動を外部に発信し発注者のみならず広く一般市民にも理解を深めて頂く事が必要であるとの認識で一致しました。この内、①に関してはこれまでに行われてきた各種講習会やセミナーは今後も発展的に継続させるものとし、緊急の課題としては建設CALS/ECに代表されるようなIT技術の敷衍・習得が重要であるとの結論を得ました。

また、②の外部への発信に関してはこれまで主に対象としておりました発注者たる官公庁以外に地域住民(市民)との連携強化の観点を積極的に取入れ、公共事業のエンドユーザーたる一般市民に直接アピールする事が業の社会的地位向上や、需要の掘り起こしにもつながるばかりでは無く業界としての社会的還元の立場からも当然の事であろうとの結論を得ました。

最終的な検討結果は『検討結果報告』としてとりまとめ平成13年5月24日に開催された役員会に報告・提出いたしました。なお、当委員会は『検討結果報告』のとりまとめ後、当初の予定通り解散いたしました。